

資料 1 — 1

第 8 期 柏市 高齢者いきいきプラン 2 1 の進捗状況について

資料 1 — 2 及び 1 — 3 に記載した各事業ごとの取り組み状況等について、下記にまとめました。

1 資料 1 — 2 及び 1 — 3 の記載内容について

(表 1)

資料名	内容
資料 1 — 2	第 8 期 指標一覧
資料 1 — 3	指標一覧の各事業ごとの取組状況について

資料 1 — 3 の取組の記載のポイントとして、令和 3 年度は第 8 期プラン初年度であるので、指標の達成状況にとらわれすぎず、事業全体を総合的に評価しました。

「今年度の見通し」欄は、各指標の数値に対する評価ではなく、各事業の進捗率（見込み）に対する評価となっています。

また、「コロナの影響」欄は、各事業の実施において、新型コロナウイルスの影響がある場合に「有」を記載しています。

(表 2)

今年度の見通しの取組評価基準	進捗率	件数	コロナ 影響有
◎：計画を上回って進む（見込み）	100% 超	13	8
○：ほぼ計画どおり進む（見込み）	80～100%	48	29
△：計画よりやや遅れる（見込み）	60～80%	8	7
×：計画より遅れ、見直しが必要（見込み）	60% 未満	2	2
—：未評価（※事業中止などのため）	—	2	1
	計	73	47

※件数については、各事業に対する評価を集計したものです。

コロナ影響有については、各評価の中で新型コロナウイルスの影響欄が「有」を集計したものです。

2 全体の傾向について

資料1—3「今年度の見通し」欄及び「コロナの影響」欄をまとめたものが1ページの表2になります。

(表3)

見通しの数値では、第8期プランを策定するにあたり、新型コロナウイルスの影響を加味した指標となっていますが、「計画を上回っている、計画通り」の評価となる「◎と○」の合計が、全体の84%を占める形となりました。また、「○」だけを見ると、4

8の数値に対し、コロナ影響有の数値は29と、大きい割合を占めていますが、ほぼ計画通りに各事業を進めています。コロナの影響を受けながらも、各関係課が工夫しながら各事業に取り組んでいます。

「計画よりやや遅れる」の評価の「△」の合計については全体の11%となりました。これは、ボランティアや通いの場、特定検診などの人と接する機会が多い事業であり、コロナの影響を受けてしまっているものが多く該当します。その一方、ボランティアに参加したい方や、通いの場で人と交流したい方などの意欲がある方の人数は減少していないため、引き続き各事業を進めていきます。

最後に、「計画より遅れる、未評価」の評価の「×とー」の合計については全体の5%となり、割合は小さいものとなりました。主に研修などの人を集めて開催するもので、事業が中止となったことによるものです。来年度は開催方法等の見直しなども行いながら、事業を実施していきます。

最後になりますが、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、新しい生活様式に対応しながら各事業の取り組みを進めていき、基本理念である「すべての高齢者が、その人らしく、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるまち 柏」の達成を引き続き目指してまいります。

今年度の見通し全体の割合

